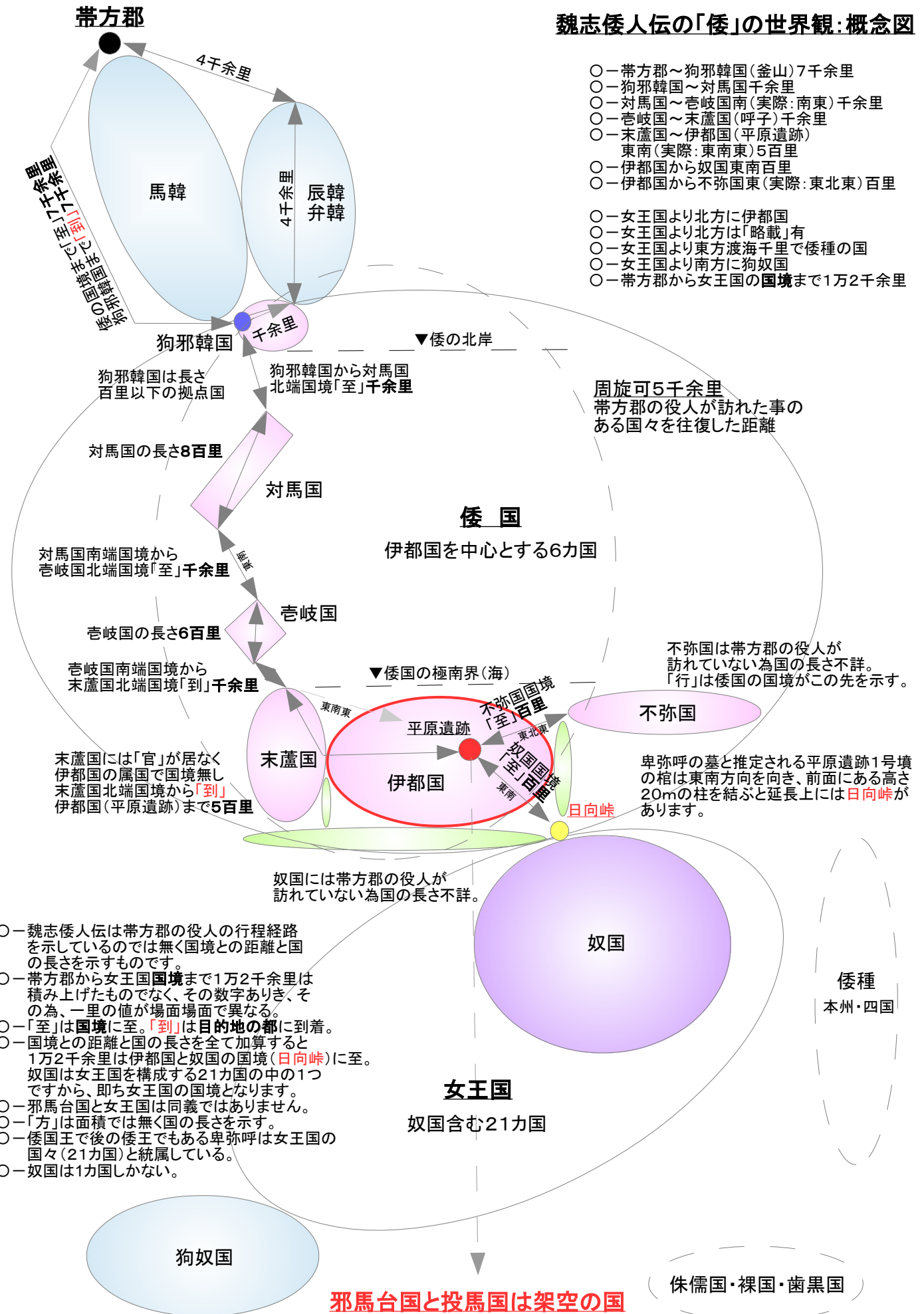


# 魏志倭人伝の「倭」の世界観: 概念図

- 帯方郡～狗邪韓国(釜山)7千余里
- 狗邪韓国～対馬国千余里
- 対馬国～壹岐国南(実際:南東)千余里
- 壹岐国～末蘆国(呼子)千余里
- 末蘆国～伊都国(平原遺跡)東南(実際:東南東)5百里
- 伊都国から奴国東南百里
- 伊都国から不弥国東(実際:東北東)百里
  
- 女王国より北方に伊都国
- 女王国より北方は「略載」有
- 女王国より東方渡海千里で倭種の国
- 女王国より南方に狗奴国
- 帯方郡から女王国の国境まで1万2千余里



- 魏志倭人伝は帯方郡の役人の行程経路を示しているのではなく国境との距離と国の長さを示すものです。
- 帯方郡から女王国国境まで1万2千余里は積み上げたものでなく、その数字ありき、その為、一里の値が場面場面で異なる。
- 「至」は国境に至。「到」は目的地の都に到着。
- 国境との距離と国の長さを全て加算すると1万2千余里は伊都国と奴国の国境(日向峠)に至。奴国は女王国を構成する21カ国の中の1つですから、即ち女王国の国境となります。
- 邪馬台国と女王国は同義ではありません。
- 「方」は面積では無く国の長さを示す。
- 倭国王で後の倭王でもある卑弥呼は女王国の国々(21カ国)と統属している。
- 奴国は1カ国しかない。